

令和7年（2025年）8月5日

山陽小野田市議会議長 高 松 秀 樹 様

議会運営委員長 宮 本 政 志

陳情・要望書の審査結果について（報告）

令和6年8月16日付けで受理した「議会運営に関する陳情書」について、令和6年11月8日から令和7年8月5日までに開催した議会運営委員会において審査を行いました。その結果を下記のとおり御報告します。

記

1 陳情・要望書の件名

議会運営に関する陳情書

2 審査結果

本陳情書に基づいて、他の市議会等からの視察を受け入れた際の議事録あるいはその概要を記録として残すことの是非並びに議員研修会の内容についての再考及び開催回数の見直しの是非を検討したところ、次のとおりの結論となった。

- (1) 他の市議会等からの視察を受け入れた際の議事録あるいはその概要を記録として残すことの是非について

他の市議会等からの視察を受け入れた際には、当該視察対応の概要を記録で残すべきという結論となった。なお、当該概要とは、既に公表している「視察日」、「自治体名」、「委員会・会派等名」、「視察内容」、「説明担当課・担当委員会」に加えて、これまで主題しか記載していなかった「視察内容」に相手方の質問事項の概要まで記載するものとした。

これは視察対応の記録を残すことが本市議会の重要な財産となるという本陳情の願意には賛同する一方で、具体的な質疑応答の記録を残すことは本市議会及び視察に来る市議会等の活発な意見交換の機会を損なう可能性があるためである。

(2) 議員研修会の内容についての再考及び開催回数の見直しの是非について

議員研修会の内容については、直近の本市議会主催の議員研修会では、議長から「原点に立ち返るような基本的な議員研修会を行いたい」という旨の要請を受け、議会アドバイザーの江藤俊昭先生から基本的な内容を学んだという経緯があり、議会全体の底上げを行うことを目的として基本的な考え方を学ぶ研修会も視野に入れながら研修の題材を決定していることを確認した。

また、開催回数については、議会基本条例に係る研修を行う時期は明記しているが、他の研修については必要な題材について必要な回数開催できるよう、明記することなくその都度議論することを確認した。